



令和7年度「秋月グラント」助成事業
平和朗読劇発表会

60年の時空を結ぶ孫と祖母の 心の再生と継承の物語 あげん夕日は美しかとに



作・演出 小川内 清孝

作 画 マルモトイヅミ

出 演 前田 真里（フリーアナウンサー） 牧野 幸子（劇団夢桜代表）

谷川 聖（声楽家） 草場 舞（MC・俳優） 浅野 宇泰（総合創作団体Kimamass主宰）

岩永ゆかり（フリー役者） 中村 城治（長崎平和推進協会国際交流部 部員）

音 楽 池田 祐希（長崎OMURA室内合奏団 / ファゴット奏者） 下条 絵理子（ピアニスト）

日時／令和8年 1月18日(日) 14時 開演

会場／国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館

地下2階 交流ラウンジ

入 | 場 | 無 | 料

※この事業は(公財)長崎平和推進協会
「秋月グラント」助成事業です。

協力：国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館



※国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 HP より転載



【あらすじ】

女子高生の明日香は、風紀委員としてクラスメイトの喫煙を担任に報告したが、その後クラスメイトは自殺してしまう。そのことで思い悩んだ明日香は、祖母あきの家へ相談に向かう。孫娘の悩みを聞いたあきは、友人達を亡くし、自身の運命をも翻弄した、60年前の長崎の被爆体験を語って聞かせるのだった。昭和と平成、60年の時空を結ぶ孫と祖母の心の再生と継承の物語。



あけん夕日は美しかとに

〈出演者・制作者プロフィール〉

《朗読劇》前田 真里（まえだ まり）



アナウンサー、Peace by Peace NAGASAKI 代表 <https://peaceby.org/> 長崎市在住。NCC を退社後、フリーに。現在、TV やラジオの番組にレギュラー出演中。2012～2016年NY在住。2018年～親子記者事業の編集ボランティア。2020年、長崎県立大学大学院卒業。ライフワークとして「平和」について考える場づくりを長崎の学校、公民館、公園などで行う。2025年夏、『小学生記者がナガサキを記事にする』（くもん出版）出版。

《朗読劇》牧野 幸子（まきの さちこ）



大村市在住。ミュージカル劇団夢桜代表。大村の市民ミュージカルに初回から参加。その仲間とミュージカル劇団夢桜を立ち上げ20年以上活動している。広島市出身。爆心地から460mの袋町小学校に通い子どもの頃から平和教育にふれる。

《朗読劇》谷川 聖（たにがわ きよら）



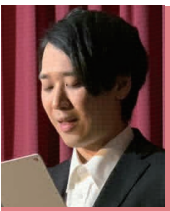
昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科声楽コース卒業。市民ミュージカル『赤い花の記憶 天主堂物語』ヒロインさくら役（2016年）。第56回長崎県高等学校音楽コンクール第1位。第14回長崎県高等学校総合文化祭開会式において国歌独唱を務める。第48回長崎県新人演奏会出演。純心中学校・純心女子高等学校音楽教諭。

《朗読劇》草場 舞（くさば まい）



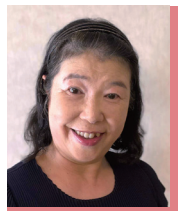
長崎の芸能プロダクションリアンドクール所属。長崎にてテレビリポーター、ラジオパーソナリティ、MC、俳優と幅広く活動中。

《朗読劇》浅野 宇泰（あさの ひろやす）



総合創作団体Kimamass代表、長崎県長崎市出身。幼い頃から文学への強い関心を持ち、2009年に演劇を始めると同時に総合創作団体 Kimamassを発足。以降、作家・演出・俳優として長崎市を中心に活動。長崎市主催の演劇事業にも数多く参加。コトバスラムジャパン長崎大会2025優勝。

《朗読劇》岩永 ゆかり（いわなが ゆかり）



長崎市で幼稚園や保育園で子どもたちの教育に長年関わる。大村に引っ越し後は、学校図書館での読み語り活動で平和を伝えてきた。大村市のミュージカルなど18年ほど役者として表現活動を続けている。

《朗読劇》中村 城治（なかむら じょうじ）



長崎南山中学・高校を退職後、現在は非常勤講師として聖母の騎士高校で英語を教える。平和推進協会国際交流部の部員として、外国人へのボランティアガイドとして原爆資料館や平和公園などを案内する。ミュージカル『赤い花の記憶 天主堂物語』に出演したのを機に、作家の小川内清孝氏と交流を続け、平和朗読劇に協力。

《作・演出》小川内 清孝（おがわうち きよたか）



長崎市在住のライター & エディター。2008年より親子記者事業（非校協）の編集ボランティア、2014年より被爆者の体験記執筆補助（国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館）を行う。2025年1月に平和朗読作品『祖母・手島早苗からの手紙』を発表。主な著作に『赤い花の記憶 天主堂物語 舞台裏』（長崎文献社）、『長崎偉人伝 永井隆』（長崎文献社）など。

《作画》マルモト イヅミ（まるもと いづみ）



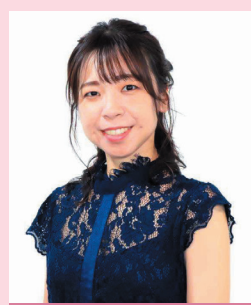
漫画家・イラストレーター。長崎県生まれ。30年の歴史を持つまち歩きグループ「長崎路上観察学会アルキメデス」会長。長崎の原爆体験を漫画化するなど平和の継承活動も行っている。国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館・朗読ボランティア「被爆体験を語り継ぐ 永遠の会」メンバー。

《演奏》池田 祐希（いけだ ゆき）



ファゴット奏者。長崎市出身。長崎大学教育学部芸術文化コース音楽科卒業。同大学大学院修了。長崎 OMURA 室内合奏団団員。アルカス SASEBO ジュニアオーケストラ講師。とぎつカナリーホール、長崎県音楽連盟各運営委員。スタジオしずく主宰。

《演奏》下条 絵理子（しもじょう えりこ）



長崎市出身。活水高等学校音楽コース、活水女子大学音楽学部演奏学科ピアノコース卒業。大学在学中よりアンサンブルピアニストとしても積極的に活動。現在、各種コンサート活動を展開。活水女子大学音楽学科及び子ども学科非常勤講師、及び音楽学部伴奏ピアニスト。スタジオしずく講師。長崎アカデミー男声合唱団、メサイアシンガロング各ピアニスト。サクソフォン2本とピアノのユニットéclatメンバー。